

先進地に学ぶ 行政視察

救急医療相談診断システム・小中一貫教育

鴻巣フロンティア

平成23年1月18日と19日の日程で
大阪市消防局・大阪府箕面市教育施設を視察研修しました。



大阪市消防局司令本部

大阪市は、平成21年10月に救急医療相談事業を導入し、相談方法は消防局内に設置した「救急安心センター「おおさか」」で24時間365日電話を受付けます。その際、医師・看護師・相談員が応対し、医師の指示により応急処置の助言、救急車必要性の有無、症状に応じた適切な医療機関の案内等を瞬時に行い、1本の電話で対応するものです。救急医療相

談事業は、平成22年4月から周辺の15市に拡大、対象人口は600万人に増え、センターの事業費約2億円は16市で負担しています。

箕面市教育委員会は、20年4月市立止々呂美小学校・止々呂美中学校を大阪府で初めて施設一体型小中一貫校「とどろみの森学園」として開校しました。教育システムとして、小1から小4までを前期として学級担任制、小5から中1を中期として段階的教科担任制、中2と中3を後期として完全教科担任制としています。入学式や運動会は、小中合同開催でした。

今回の視察に関し、本市でも研究が必要と感じました。

バイオマスタウン構想・こども発達センター

鴻巣創会

豊川市では地球温暖化の防止や循環型社会の形成、また新たな産業や雇用を創出する観点から平成14年に閣議決定された「バイオマス・ニッ

ポン総合戦略」に基づき地域一丸となつて取り組み活動をしていました。バイオマスとはバイオ（生物）と

マス（量）が合体した言葉で、動植物から生まれた再生可能な有機物質

源を活用し、使い捨てではない資源の有効活用に取り組んでいました。

本市においても資源循環型社会の転換を目指し、ゴミの排出量削減に向けて非常に参考になる内容でした。

豊橋市こども発達センターは保健・



豊橋市での研修

医療・福祉が一体となったサービスを提供しており、災害時などには迅速で効率的に対応できる体制の整備を目指した施設でした。

子どもの成長発達を支援する療育の拠点であり、言葉や発達の遅れ、運動発達などの早期発見・早期療育の支援システムを構築していました。子育て支援策の構築は本市においても大変重要な問題ですので、今後様々なケースに対応して取り組む必要があると感じました。